

肥料価格高騰対策のごあんない

～肥料価格高騰に直面する農家の皆様を支援します～

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の皆様の肥料費を支援します。

支援の内容

- 令和4年6月から令和5年5月に購入した肥料（昨年秋肥と本年春肥として使用する肥料）が対象です。
- 今回の申請は、**令和4年11月から令和5年5月**に購入した春肥になります。
- ※秋肥の申請ができなかった方も受け付けます。（※別途相談ください。）

化学肥料低減の取組を行った上で前年度から増加した肥料費について、**7割**を支援金として交付します。

$$\text{支援金} = \left[\text{当年の肥料費} - \left(\frac{\text{当年の肥料費}}{1.4} \div 0.9 \right) \right] \times 0.7 \times 0.1$$

<例：当年の肥料費10万円の場合>

$$\text{(国)} 14,444 = (10\text{万円} - 10\text{万円} \div 1.4 \div 0.9) \times 0.7$$

$$\text{(県)} 2,063 = (10\text{万円} - 10\text{万円} \div 1.4 \div 0.9) \times 0.1$$

※県推奨項目の取組を行った方は、**県事業**から**1割**を交付します。
(支援金⇒国7割+県1割=合計8割)

- ◎対象者は、販売農家です。
- 今回の申請は**令和4年11月から令和5年5月**に注文・購入し、引取りが完了した春肥が対象です。
- 申請は、秋肥(令和4年6月から10月)と春肥(令和4年11月から令和5年5月)は別々の申請となります。
- JAえひめ中央で購入された方は、注文書・領収書等は**不要**です。
- 他店で購入された方は、肥料法の確認が必要になりますので、購入された店舗にお問合わせください。
- 化学肥料低減に向けた取組に**2つ以上**取り組んでいただきます。

※令和6年度に、実績報告書と取組んだこと分かる書類を提出していただきます。（土壌診断の診断結果、施肥設計、購入肥料の伝票、作業時の写真、作業日誌等）

化学肥料低減計画書に必要事項をご記入のうえ、提出をお願いいたします。

裏面2ページの記載例をご確認ください。

他の団体から申請	有・無	あれば団体名を記載
市町からの支援	有・無	あれば市町名を記載

実施要領参考様式第2号（化学肥料低減計画書）

化学肥料低減計画書

秋用肥料	春用肥料	年間

注：該当するものに○を付けること

作付概要

作物名	作付面積 (ha)
その他	
計	

氏名
(法人・組織名)

住所

電話番号

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付けてください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エトオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

本計画の情報について、必要に応じて該当する以下の組織に提供することを承諾します。
市町(又は市町協議会)並びに取組団体

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署)

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

切り取り線

他の団体から申請	有・無	あれば団体名を記載
市町からの支援	有・無	〇〇市

化学肥料低減計画書

作付概要		秋用肥料	春用肥料	年間
作物名	作付面積 (ha)		○	
水稲	4.6			
玉ねぎ	0.1			
柑橘	1.5			
その他	0.5			
計	6.7			

・単位はhaで記入してください。(aやmは×)
・野菜・花木は詳しい品目を記入してください。

当するものに○を付けること

氏名 (法人・組織名)	愛媛 太郎
住所	愛媛県松山市一番町4-4-2
電話番号	090-1234-5678

携帯電話番号を記入してください。

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
★ ア 土壌診断による施肥設計	○	○
★ イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
★ エ 堆肥の利用	○	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エトオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
★ シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト削減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(アースに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用()		

「令和4年度又は令和5年度の取組」欄のうち、取り組めるものに○を記入してください。

- ・2つ以上に○が付けばOKです。
- ・これまで既に取り組んでいるものもカウントできます(その場合、1つ以上は、新しい取組または従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。)
- ・取組後、取組んだことわかる書類を提出していただきます。

↑県推奨項目

本計画の情報について、必要に応じて該当する以下の組織に提供することを承諾します。
市町(又は市町協議会)並びに取組団体

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 愛媛 太郎

提出期限 令和5年6月20日(火)
提出先 各JAアグリセンター・経済センター・営農支援センター
問合せ先 営農部 経営支援課 TEL 089-943-2342
北部営農支援センター TEL 089-911-8586
東部営農支援センター TEL 089-955-0242
南部営農支援センター TEL 089-982-4972
お近くのJAアグリセンター・経済センターまで